

第44回清水銀行杯フレンドリーシティ清水少年少女サッカー大会競技規則

3種委員会

*2011/2012年のフットサル競技規則に準ずるが、以下の規定で行う。

第1条 ピッチ

- ・第2ペナルティーマークは使用しない。
- ・常設のベンチを利用し、自陣側の交代ゾーンから交代する。ハーフタイムでベンチも入れ替わる。

第2条 ボール

- ・フットサル用ボールを本部で用意する。

第3条 競技者の数

- ・試合は、1チーム5人以下の競技者で行い、1人はゴールキーパーとする。試合開始時に4人の競技者がいなければならない。
- ・ベンチにはチーム役員と登録された選手のみが入ることができ、交代は役員が責任をもって行う。
- ・交代は、交代ゾーンで行い、アウトする競技者が完全にピッチの外に出てから交代要員がピッチ内へ入ることができる。インプレー中でも交代ができ、交代のためにプレーを止めないのでゴールキーパーの交代に注意する。

第4条 競技者の用具

- ・ユニホームがそろわない場合は、ビブスでも構わないが、ゴールキーパーの色は変える。
- ・シューズは、スパイクの使用は認めない。
- ・すね当てをきちんと着用し、ソックスやユニフォームがだらしなくならないように役員が注意を払う。

第5・6条 審判員

- ・審判は主審を3種委員会スタッフで行い、第2審判員は帯同で行う。タイムキーパーは設けない。

第7条 試合時間

- ・12分-3分-12分の(ランニングタイム)で行い、同点の場合は一人目からサドンデスのPK戦で決める。(PK戦は試合に参加できる全競技者の中から順番をつけ行う。)
- ・タイムアウトは取ることができない。

第12条 反則と不正行為

- ・サッカーと同様に、スライディングタックルやチャージは認められるが、『不用意に・無謀に・過剰な力で』行われた場合は反則となる。
- ・自陣のペナルティーエリア内で、直接FKになる違反をした場合は相手競技者にPKが与えられ、間接FKになる違反をした場合はペナルティーエリアラインまで下がってFKを行う。
- ・退場者はベンチやピッチから離れなければならない。また次の試合に出場できない。警告や退場となる違反が起こらないように、役員がリスペクトを心掛けさせる。
- ・退場者が出た場合は、2分間または1失点するまで競技者を補充することは出来ない。
- ・GKからハーフウェイラインを直接越えるパスを行うことや、キックオフから直接得点することは認められない。

第13条 フリーキック

- ・フリーキックが行われる場合は、相手競技者は5m以上ボールから離れなければならない。
- ・キックを行える状態になってから、4秒以内にキックをしなければならない。
- ・反則の累積は行わない。しかし、繰り返し競技規則に違反する競技者には警告(イエローカード)が与えられる。

第14条 ペナルティーキック

- ・ペナルティーキックが行われる場合、キッカー以外の競技者はペナルティーマークより後方で5m以上離れていなければならない。

第15条 キックイン

- ・ボール全体がタッチラインを越えた場合は、キックインによってプレーを再開する。
- ・ボールは、出た地点のライン上または、ラインの外25cm以内に置く。
- ・キックインからは直接得点できない。
- ・キックインが行われる場合は、相手競技者は5m以上ボールから離れなければならない。
- ・キックを行える状態になってから、4秒以内にキックを行わなければならない。

第16条 ゴールクリアランス

- ・ゴールキックは行わず、ゴールキーパーがボールを投げるゴールクリアランスを行う。
- ・ゴールクリアランスができる状態になってから、4秒以内にゴールクリアランスを行わなければならない。

第17条 コーナーキック

- ・コーナーキックが行われる場合は、相手競技者は5m以上ボールから離れなければならない。
- ・キックを行える状態になってから、4秒以内にキックを行わなければならない。